



一本道

相良中学校通信No.23

令和5年11月14日

校長 吉田憲一

学校教育目標 「元気と挑戦で 成長を」

1 文化祭、素敵な時間をありがとう。

11月12日、文化祭を次の内容で行いました。

- ①生徒会の開祭セレモニー ②吹奏楽部の演奏
 - ③演劇「1年：みなまたの木」「2年：あきなわ島の歌」「3年：This is Me」 ④
 - 合唱「1年：Yes!」「2年：新しい世界へ」「3年：群青」と、
- 笑いあり、感動ありの素敵な時間でした。閉祭セレモニーでの3名の言葉を紹介します。



相良中 HPへ

1年：白谷ひまりさん「中学校初めての文化祭、小学校の時より自分たちで準備することが多く大変だった。緊張もあったけど、仲間と一生懸命に取り組むと、とても楽しかった。」

2年：宮村こうがくん「2年生となった今年は、去年よりも伝えることを意識して参加することができた。修学旅行と劇を通して、当時の沖縄の状況や島の人たちの叫びを伝えることができた。」

3年：吉松あきとくん「3年間の集大成、自信と誇りをもって、劇に歌に本気でやった。最高の劇にするために、試行錯誤した。これから、高校受験に向かっていく、このかけがえのない経験を生かして進んでいきたい。」



2 蒲島知事来校、生徒に熱い思い語る

11月10日、知事出前ゼミとして、本校に來校され、講演をしていただきました。蒲島知事の幼少期から現在までの経験をもとに、演題でもある「逆境の中にこそ夢がある。～不可能を可能にする～」について、熱い想いを生徒たちに伝えられました。次の3人の質問にも、具

体的に答えていただきました。

3年：松田ゆうごくん「現在、夢がありません。どうしたらよいのでしょうか？」

1年：田端れいきくん「死ぬほど勉強したと言われましたが、1日どのくらい勉強されましたか？」

2年：渡瀬めいさんが「知事として一番大切にしていることは何ですか？」

最後は、くまモンも出てきて、くまモン体操を踊ったり、一緒に写真撮影をしたりしました。生徒たちの心に、蒲島知事の熱い想いが伝わった1時間となりました。



3 東京にて、「朝の読書大賞」贈呈式に出席

11月6日、東京にて、朝の読書大賞贈呈式が行われ、私と図書司書の鵜口先生が参加し、賞状とトロフィー、目録をいただきました。その後、スピーチでは、26年前の私と朝の読書との出会い、相良中での朝の読書との出会いと2つの驚き、その要因としての図書司書の存在、日本トップ級の読書の学校であること、大賞受賞への感謝を述べました。今後も一冊の本との出会いを楽しめる学校づくりを続けていきます。

松田ゆうご図書委員長とも話し合い、全校生徒に図書券(1000円)を贈呈することにしました。是非、本屋に行って選書・購入し、読書を楽しんでほしいと思います。

